



【わが村運動情報】

◎ＪＲ北海道車内誌「The JR Hokkaido」５月号の掲載情報

ＪＲ北海道車内誌には、「わが村は美しく－北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。５月号では、第１１回コンクールで奨励賞を受賞した「辰巳農園」（上川町）について紹介されています。

ＪＲにご乗車の際は、ぜひご一読ください。

ＪＲ北海道ＨＰからＪＲ北海道車内誌（最新号）の電子ブックがご覧いただけます。

（ＨＰトップページ↓の下段より「北海道旅の情報誌 The JR Hokkaido」のバナーを選択）

<https://www.jrhokkaido.co.jp/>

「辰巳農園」については、わが村ＨＰでもご紹介しております↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/slo5pa0000019pd9-att/slo5pa0000019prc.pdf

◎広報誌「開発こうほう」５月号の掲載情報

（一財）北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しく－北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。５月号では第９回コンクールで奨励賞を受賞した「(株)なまら十勝野」（芽室町）について紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は（一財）北海道開発協会のＨＰよりご覧いただけますので、「わが村は美しく－北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご一読ください↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

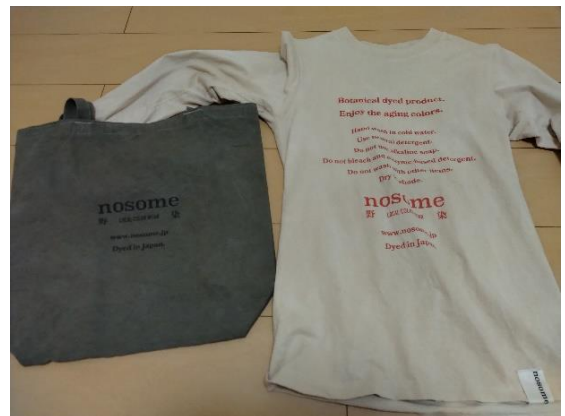
「(株)なまら十勝野」については、わが村ＨＰでもご紹介しております↓

【わが村コラム】

今回紹介するのは、地域で廃棄される物を染料として利用することで地域の色を作り、染色した衣類やグッズを販売している帯広市の**合同会社ノーサム**（第11回コンクールNPO特別賞受賞団体）の**取扱商品や活動**についてです。

合同会社ノーサムは、「野の物で染める（野染→nosome）」を由来とし、廃棄する物しか染料に使用せず、阿寒湖の温泉水を使用したアイヌの伝統的な手法での草木染めといった独自の理念のもとで染色した衣類やグッズを販売するとともに、各地でのイベント参加や染色体験の企画など染色を通じた地域づくりにも情熱を注いでいます。

染料となる廃棄物としては、本別町玉ねぎの皮、池田町ワイナリーのブドウの皮、芽室町ピーナッツの殻などで、商品は、Tシャツ、パーカー、靴下、帽子、バッグなどを取り揃えています。同じ商品がない一点物であることから、オリジナルなアイテムとして好評です。私もTシャツ、パーカー、バッグを購入しており、生地質感や手作業が醸し出す色合いにたいへん満足しています。何度か洗濯すると色が落ちてくるらしく、その際は染め直していただけるとのことで、アフターサービスもバッチリです。



筆者が購入した商品の一部
（左：池田町ワイナリーのブドウ皮で染めたバッグ）
（右：本別町玉ねぎの皮で染めたTシャツ）

商品販売のほか、「地域の色を作る」様々な活動も行っており、『染め物体験』、『染め物原料を通じた地域との交流』などの活動を全道各地で展開しています。

『染め物体験』は、帯広市の店舗内にある作業場、十勝地域のフェスなどで実施しています。最近店舗に訪問した際には、偶然にもオリジナルTシャツを製作したいという帯広市内のNPO法人

の方が、店舗内の作業場で玉ねぎの皮を使用した染色の体験を兼ねてオリジナルTシャツを製作していました。作業中のNPO法人の方にどのような経緯か聞いてみたところ、「オリジナルTシャツを製作するにあたり、ノーサムさんの噂を聞き相談したところ、自ら製作できることがわかった。自ら染色を手掛けることで愛着も湧いてくるのでとても満足している。」とのことでした。



玉ねぎの皮を染料とした染め物体験状況（左：染色作業中、右：乾燥中のTシャツ）

『染め物原料を通じた地域との交流』は、主にSNSでノーサムの活動を知った全道各地の個人や団体などから「〇〇を染料にできないか？」との問合せも多く、いろいろと協力をしています。最近では、過疎に悩む幌加内町の町おこしの一つとして、廃棄するそば殻を利用して染色したアイテムの製作に協力したことが、STVのニュースに取り上げられています。<https://www.youtube.com/watch?v=KvRRiTnr6Ck>

ノーサムは、「玉ねぎの皮を何かに利用できないか？」という本別町の農家の疑問をきっかけに誕生しており、今では本別町のふるさと納税の返礼品になるなど、町おこしにも貢献している実績から、色での町おこしの相談には協力してあげたいとのことでした。また、地域にある物を利用した町おこしをテーマに大学で臨時講師を務めるなど、人や地域との交流にも積極的です。

ノーサムの商品は、帯広市の店舗、オンラインストアや各種イベント出店で購入できます。令和7年1月には東京三越で開催された北海道展にも出店するなど、活動の幅を広げるノーサムの商品などに興味をお持ちの方は、お買い求めいただき、味わい深い色合いを是非お楽しみください。

【店舗情報】 合同会社ノーサム（帯広市大通り南１１丁目２０－５）

・ 営業日時：土、日、月、火 11:00～19:00

・ 公式サイト（オンラインストア）：<https://www.nosome.jp/>

【わが村団体活動情報】

◎野菜直売所『にじいろファーム』２０２５年の営業を開始しました！（七飯町）

<わが村団体名：にじいろファーム>

七飯町桜町にある野菜直売所「にじいろファーム」は、地元で長く愛された直売所を引き継ぐ



形で令和３年にオープン。会員農家約５０軒と協力して、年間約１５０種類を販売しています。

今年も４月１９日（土）から営業を開始しました。七飯町の春を告げる野菜『白かぶ』や山菜等季節の味覚の他、新鮮な野菜を揃えてお待ちしております

おりますので、是非お立ち寄りください。

今年からスマホ決済の他にクレジットカードと電子マネーが利用できるようになり、ますますお買い物しやすくなりました！皆様のご来店を心よりお待ちしております。



【営業期間】 ４月１９日（土）～１１月下旬頃

まで ※営業期間中無休

【営業時間】 ８：３０～１５：００まで

【住 所】 亀田郡七飯町桜町３７－１

【お問合せ】 TEL：０７０－４００２－５６２３（営業時間中のみ）

【Ｓ Ｎ Ｓ】 <https://www.facebook.com/nijiirfarm.4783/>



◎『みんなで作って食べよう！カレーライス 子ども料理教室 春休みチキン編』を開催しまし

た！！（七飯町） <わが村団体名：ななえの食を考える会>

『ななえの食を考える会』では、地域食材を活かした料理教室、食に関する講演会、果物収穫体験などの「食」に関する活動を行っており、3月25日（火）には和食の料理人である菊池隆大さんを講師に招き、小学生から高校生までの子どもたち16名の参加による料理教室を開催しました。

この日作ったのは“チキンのスープカレー”です。はじめに子どもたちはシェフの元に集まって手順を教わりました。「にんじんは七飯産のおいしい人参だから皮のまま」「かぶの根っこも捨てないで入れて葉っぱは茹でて添える」などのことで、栄養たっぷりで捨てるところが少ないのが嬉しいですね。



シェフのお手本を見ながら、シェフより「サラサラしたカレーなのでどの具材も薄

く、細く切る」「タマネギを繊維に沿って縦に半分にし、できるだけ薄くスライスする」「薄ければ薄いほどおいしくなる」「タマネギを炒めるときに塩をひとつまみ入れる」「塩は味付けではなく水分を出すため」「薄く切ったタマネギは茶色くなるまで炒めてから、スパイス、トマトピューレ、ニンニク、しょうがを加え、さらにまとまるまで炒める」など、調理のポイントも教えてもらいます。

この状態で冷凍しておく、あとは水や牛乳や出汁で伸ばすことにより、いつでも簡単にカレーが出来るそうです。

シェフのアドバイスを胸に刻み、各班4～5名ずつに分かれて調理を開始します。

薄く切ったり、細く切ったりは簡単ではありませんが、子どもたちはやる気にあふれ、どんど

ん食材を切っていきます。鶏肉、にんじん、長ネギ、じゃがいも、かぶ等の具材も炒め、火がし



っかりと通ったのを確認してから、先に作ったカレーと昆布とカツオで取った出汁を入れて弱火で煮込みます。

出汁とカレーの良い香りに「早く食べて、おかわりする」と宣言する声も聞こえる中、大豆と一緒に炊いたごはんとともに、いよいよカレーの完成です。

子どもたちは自分たちで作ったカレーに舌鼓を打ちながら「スパイスが効いて辛かったけど初めて食べた味でおいしい」「カレー粉じゃなくてスパイスでカレーを作ることができて良かった」など感想を伝え合い、和やかに料理教室を終了しました。

『ななえの食を考える会』では、食に関する様々なイベントを行っておりますので、興味のある方はお問合せください。【お問合せ】090-9754-3612（ななえの食を考える会 田中）

【活動支援メニュー】

○令和7年度 わが村運動活動助成の実施（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワークでは、北海道開発局と連携し「わが村は美しく－北海道」運動を推進しており、その参加団体の活動支援を行っています。

その活動支援の一つとして助成事業を実施しており、現在、令和7年度（前期）の申請受付を行っています。

助成事業の詳細については、当NPO法人のHPによりご確認ください。

「わが村は美しく－北海道」運動は地域で頑張る皆さまを応援しています。

【申請受付期間】（前期）令和7年1月～令和7年6月30日まで

【助 成 額】 1 団体当たり 1 件、1 0 万円を限度として、選考により予算の範囲内で助成

【H P】 <http://wagamura-net.jp/>

○令和 7 年度 地域づくり活動発掘・支援事業（公益社団法人 はまなす財団）

公益社団法人 はまなす財団では、地域づくりを進める民間の活動主体に対し、事業や活動が持続的なものとなるよう、2～3 年という中期的なスパンで「ハンズオン支援(※)」を行っています。〔(※) 活動の主体である団体と同じ目線に立ちながら、外部からの客観的な目線も加えた伴走型の支援です。〕

2024 年度からは、食および観光分野における活動・事業を重点的に支援しており、2025 年度の募集については、はまなす財団の H P で 5 月頃にお知らせする予定ですので、詳細は H P によりご確認ください。

【募集期間】（昨年度）5 月上旬 ～ 6 月上旬まで

【助 成 金】（昨年度）1 団体あたり一般枠は100万円、地域農業連携枠は150万円を上限に支給

【H P】 <https://www.hamanasu.or.jp/index.html>

○農山漁村の案内に役立つ〔便利帳〕（北海道農政部）

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取り組みを積極的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する〔便利帳〕を作成しています。詳細は、北海道農政部 H P をご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんが活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部 H P をご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々に応援するための制度で、新商品を3ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てていただくことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに3か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（テスト販売期間：R7 第2四半期（7月～9月））

令和7年4月1日 ～ 令和7年5月20日

【お問合せ】北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

TEL 011-204-5766

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご参考まで↓

【H P】 https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

最近、AIが騒がれて多くのサービスが登場しましたが、実際に何を使ったらいいの？となることはありませんか。そこで、私が試してみたAIツールの中で、特に便利で役立つと思ったものをご紹介します。「NotebookLM」というのはご存じでしょうか。Googleのアカウントを持っている

と誰でも無料で使用できます。一般的なAIツールは出所のわからない情報や信頼性の低い情報を参照することがありますが、これは指定された情報のみを参照しますので、アウトプットの確度は高くなります。とある企業では、社内マニュアル等を読み込ませ、AIに尋ねることで簡単に情報を引き出せるように活用しているところもあるようです。5月はゴールデンウィークもあるので、連休を利用し新しい技術に触ってみるのも面白いかもしれませんね。

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎13階

↓わが村HPはこちらをご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。

配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

(配信希望の方は、所属先(所在地)、氏名、メールアドレスを明記の上、こちらへ↑ご送付ください)

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、

Microsoft Edge等を使用して接続してください。
